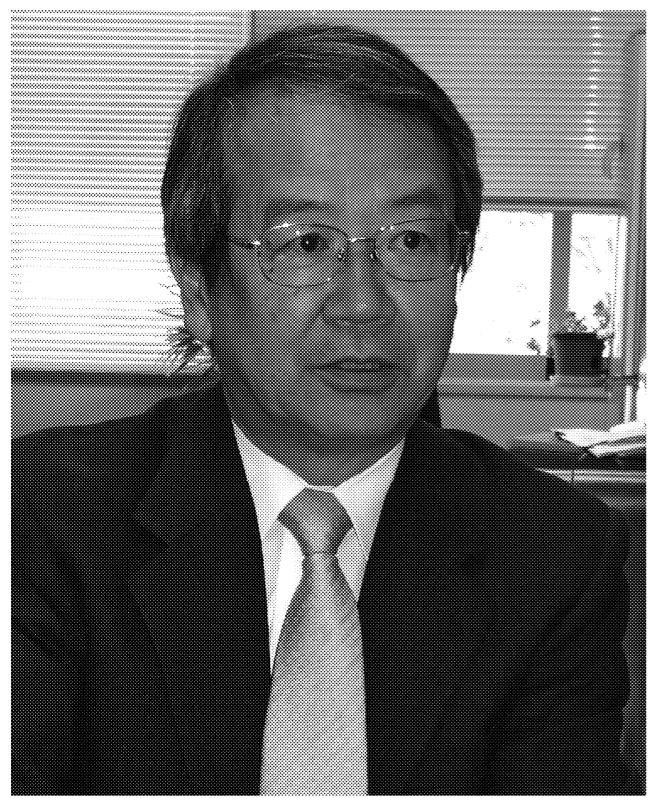


# 九州・山口の金型・熱処理産業界



日本熱処理技術協会九州支部長  
福岡県工業技術センター所長  
こうやまさらひで  
神谷昌秀氏



日本熱処理技術協会九州支部長  
福岡県工業技術センター所長

九州の熱処理産業界は、ここ数年で最も良い状況になつて、典型的な受注割合は至っていない。しかし中小零細企業のため、大手企業を中心とした景気回復に伸びた。しかし中小零細企業が多く、実感できるまでには至っていない。そのため、大手企業を中心とする自動車産業の生産台数は近年140万台前後となつたが、モノづくり産業のグローバル化やエネルギー問題など、引き続き厳しい環境であることは変わらない。

九州支部としての主な活動はどのようなものでしょうか。

「熱処理技術では日本は世界有数の技術を持つ。だが近年は低コスト化のため海外の導入が拡大してユーザーが要する品質やコスト、納期などを満足した品質を生産して行くため、これまで以上に高度な熱処理・品質管理技術が求められるようになつた。これには高度な専門知識や技術が必要だ。そこで、これらモノづくりを支える金型や熱処理などの基盤技術は依然日本が世界をリードしている。ボーダーレス時代を迎え、これら基盤技術は今後ますます重要な役割を果す。九州・山口に立地する中堅・中小企業にはその対応が求められる。そこで鈴木裕氏

裕氏

裕氏